

9月26日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ軍が中世の拷問器具を使用(2024年9月21日)

動画に登場するロシア軍兵士が、戦前のロシアのクルスク地方で死亡したウクライナ兵士の遺体から発見された、大きく不穏な烙印を公開。

これは、捕らえられたロシア軍兵士や民間人を拷問するために使用されたもの。

<https://x.com/i/status/1837658704344502593>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1837658704344502593?s=09>

②ラブロフ外相の特別軍事作戦観(2024年9月21日)



<https://youtu.be/BpPOkxI8goE>

ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相は、ロシアの特別軍事作戦の世界的な重要性を強調し、国連憲章に沿って、すべての国が平等である多極的な世界秩序を支持すると主張した。ラブロフ外相は、米国とその同盟国が自国の利益にかなう「ルールに基づく秩序」を推進していると批判した。彼は、ウクライナ軍には外部からの支援なしにミサイルを運用する専門知識がないため、ウクライナに長距離ミサイルを提供することは、NATOの直接的な戦争への関与につながる可能性があるとして警告した。ラブロフ

外相はまた、ロシアの軍事的準備態勢を再確認し、いかなるエスカレーションも深刻な結果を招く可能性がある」と強調した。彼は、ロシアとイランや北朝鮮などの国との関係を擁護し、国際法に準拠していると主張し、特に中東における米国の介入政策を批判した。ラブロフ外相はガザでの停戦と人道支援を求め、さらなる暴力を防ぐためにパレスチナ国家の樹立に関する真剣な協議を促した。詳しくは動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=BpPOkxI8goE>

③ダグラス・マクレガー：プーチンの残忍な反撃によりクルスクはウクライナの墓場と化す！（2024年9月21日）

このビデオでは、ダグラス・マクレガー大佐がウクライナのクルスク攻勢の壊滅的な失敗を分析し、プーチン大統領が戦場でゼレンスキー大統領を出し抜いた経緯を明らかにしている。西側諸国の軍事援助が大きかったにもかかわらず、ウクライナ軍は前線で装甲車が炎上する中、身動きが取れなくなっている。ロシアが締め付けを強める中、クルスク地域はゼレンスキー大統領の野望にとって悪夢となり、ウクライナは崩壊の瀬戸際に立たされている。マクレガー大佐が西側諸国のミサイルの深刻な不足とそれがウクライナの破滅につながり、今後の米国選挙に深刻な世界的影響をもたらす理由を説明するので、ぜひ視聴してほしい。

<https://youtu.be/ZtSsKBacinQ>



<https://www.youtube.com/watch?v=ZtSsKBacinQ>

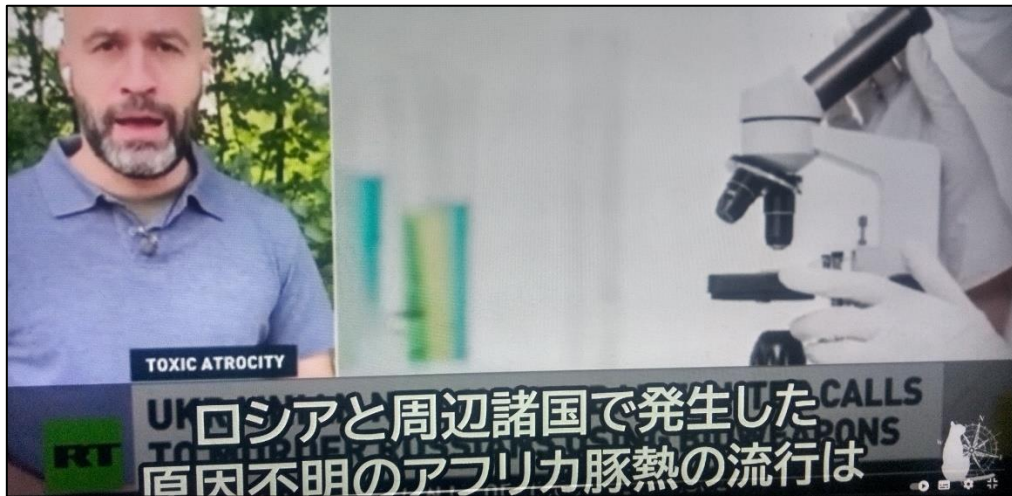
④60万人以上のウクライナ人を殺した握手(2024年9月21日)



<https://x.com/Z58633894/status/1837165092129100232?s=09>

⑤ウクライナ軍アイダール大隊「マリウポリの生物学研究所を再建すべき」(2024年9月21日)

<https://youtu.be/gdHGjB-kFdw>



<https://www.youtube.com/watch?v=gdHGjB-kFdw>

⑥ロシアに勝てると思っている人々は歴史を思い出すべき＝ドイツ元首相(2024年9月22日)



ドイツのゲルハルト・シュレーダー元首相は、ウクライナ紛争に関してロシアとの交渉を呼びかけ、ロシアに対する軍事的勝利が可能だと考えている人々に対し、歴史書に目を通すよう助言した。独紙ヴェルトが、同氏の言葉を引用して報じている。

「ロシアに対する勝利を信じている人たちには、歴史書を見ることを勧める。ナポレオンからヒトラーに至るまで、誰もがこのせいで失敗した」

シュレーダー氏はまた、ウクライナ紛争の和平実現に向けた最も現実的なシナリオについて「交渉によって終わらせなければならない。いずれにせよ、軍事的手段では解決できない。妥協が必要だ」との見解を示した。

同氏によれば、西側諸国はロシアの安全保障上の正当な利益を無視しており、ウクライナ紛争が悪化する可能性を過小評価している。

「我々ドイツ人は、第二次世界大戦の歴史とドイツの名の下に行われた犯罪に照らして、特に慎重かつ建設的に行動すべきだ」

プーチン大統領は、9月上旬に行われた東方経済フォーラムの中で、ウクライナが交渉を望むなら、ロシアはそれを拒むことはないが、交渉は2022年のイスタンブールでの合意に基づくべきだと明言した。

<https://sputniknews.jp/20240922/19115032.html>

⑦セルビア映画界の巨匠がゼレンスキー氏の宗教弾圧を批判、「神を一時的に遠ざけた」(2024年9月21日)



セルビアではゼレンスキー体制によるウクライナ正教会の禁止を扱ったドキュメンタリー映画『キリストの民』のプレミア上映会が首都ベオグラードの「ユーゴスラビア映画館」で行われた。

作品に出演したセルビア映画界の巨匠、クストリツァ監督は上映会に参加し、次のように映画のメッセージを語った。

「神という文脈で言えば、ウクライナはいま、迷っている。あそこでは、神が一時的に遠ざけられた」

また、「パートナー国」や「友好国」がパリ五輪の開会式で示したようなLGBTQ+の「ソフトパワー」によって「我々の中にある神」を殺そうとしても、この映画はセルビア全土の学校で上映されるべきだと訴えた。

クストリツァ監督はカンヌ国際映画祭の最高賞パルム・ドールを2度受賞しているほか、世界三大映画祭全てで受賞している。

上映会にはセルビア正教会のイリネイ主教も参加した。主教はゼレンスキー体制の宗教弾圧を批判、ウクライナ正教会の活動を禁止することで、ローマの暴君ネロ、背教者ディオクレティアヌスさえも凌ぐ宗教弾圧を進めていると指摘した。

「国家元首、あるいは残念ながら、もはや存在しない国家の元首を装うこの不幸な男は、私が確信していることだが、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、そのいかなる信仰心も持ち合わせてはおらず、ネロやディオクレティアヌスを始めとする歴史上の犯罪者、迫害者、拷問者さえ教会そのものを禁止しようとしたことはないが、この男はそれを実行した」

上映会ではウクライナ西部イワノ・フランコフスク出身の宣教師で哲学者のカリンチュク氏と首都キエフ出身のモギリニー司祭が登壇し、ウクライナ正教会とその信者に対する継続的な圧力について実体験を例に語った。

先にゼレンスキー体制はロシアに関係する組織の活動を法律で禁止した。ウクライナ正教会(UOC)はかつてロシア総主教府の管轄下にあったことから、その活動を禁止することが法律の目的となっている。2014年のマイダン・クーデター後に成立した親欧米のポロシェンコ政権はUOCとは別に分離派のウクライナ正教会(OCU)を設立し、ゼレンスキー政権も分離派を支持している。しかし、ロシア正教会とセルビア正教会は分離派を承認していない。ローマ教皇はゼレンスキー体制によるUOCの活動禁止を非難している。

https://sputniknews.jp/20240921/19112131.html?rcmd_alg=collaboration2

⑧天使の並木道 ウクライナ人がウクライナ人をジェノサイドし続けた8年間の記録 2014~2022 単行本(ソフトカバー)—2024/10/10(田中健之著、アジア新聞社ほか) ※安齋注:3,960円とお高めではありますが。



2022年2月24日、ロシアがウクライナ政権に発動した「特別軍事作戦」を米欧日など西側諸国は挙って、ロシアの侵略だと決めつけて批難し、厳しい経済制裁を科し、それに対するウクライナに惜しげない経済的、軍事的な支援を続け、約2年が経過した。

ロシアが特別軍事作戦を発動する2日前、ウクライナは同じウクライナのドンバス地方の住民に約4000発のミサイルを打ち込んでいる。

これに堪えかねたドンバスの人々は、8年前に住民投票で独立した二つの人民政府の承認と安全

保障上をロシアに要請した。

それが今回の「特別軍事作戦」だった。

ロシアの苦渋な決断した原因が、2014年から8年間、同じ東部ウクライナのドンバスの住民に対して行われ続けてきた、ウクライナ人がウクライナ人をジェノサイドし続けた8年間であった。

それは2014年、米国の支援で生じたユーロ・マイダン革命で成立した親米欧政権によるものであった。

本書はその8年間の記録を本邦初公開の写真でその実態を伝えると共に、ロシアの行動が開始される原因について詳述したものである。

同時にプーチン大統領のウクライナに関する演説を日本語訳し、貴重な資料としており、ロシアが特別軍事作戦開始せざるを得なかった過程を明確に示した本邦初の書籍である。

「天使の並木道」という本題は、ウクライナ人の手で犠牲になったウクライナ人の子供たちの追悼碑の名に由来する。

尚、本書に使用した写真を撮影したウクライナ人カメラマン数人は、ウクライナ政府によって暗殺されている。

第一部 写真で見るウクライナ人がウクライナ人をジェノサイドし続けた8年間の記録 2014～2022

第二部【資料集】プーチン大統領の、ウクライナに関する論文および講話集

田中健之編著・アジア新聞社企画

https://www.amazon.co.jp/dp/4867424021?ref=cm_sw_r_tw_ud_dp_VN4G0R7M8MFC1VQV91GP&ref=cm_sw_r_tw_ud_dp_VN4G0R7M8MFC1VQV91GP&social_share=cm_sw_r_tw_ud_dp_VN4G0R7M8MFC1VQV91GP&skipTwisterOG=1

⑨大規模なエスカレーション！ロシアがウクライナ向けの弾道ミサイルと巡航ミサイルを満載した NATO 船を沈没！（2024年9月22日）

<https://youtu.be/s17X-ziYECA>



このビデオでは、ウクライナ軍と北大西洋同盟に取り返しのできない損害を与え

<https://www.youtube.com/watch?v=s17X-ziYECA>

⑩【捕虜になったウク兵の話】(2024年9月22日)

アナトリー・ドミトリエビッチ・サドヴォフ、1972年5月18日生まれ。

第95旅団空輸襲撃分隊所属。

自分は健康に問題があって、この通りのてんかん持ちだし、歯が一本しかなくてものを食べる事さえできない。

俺みたいな者が大勢連れてこられた。



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1837714292566904869?s=09